

愛知県感染症情報

平成 12 年第 40 週（10 月第 1 週）

（コメント）

今週は特に目立った感染症の報告はありませんでしたが、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘に散発発生が見られます。

（先生方からのコメント）

- 尾張西部地区

- ・ 病原性大腸菌 O-25 2 名（3 歳男、25 歳男）
インフルエンザ A 3 名（2 歳男、2 歳女、9 歳男）
マイコプラズマ肺炎 1 歳男

（尾西市 城後小児科）

- ・ 仮性クループが目立ちます。
ヘルペス歯肉口内炎も散発。
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）

- 尾張東部地区

- ・ マイコプラズマ肺炎（4 歳男、4 歳女、8 歳男）3 例ありました。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）

- ・ 今週は流行はありませんでした。
水痘、溶連菌感染症、手足口病、突発疹、ヘルパンギーナ等、散発してみられました。

（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）

- ・ 手足口病の髄膜炎あり。喘息性気管支炎の入院例多し
（小牧市 小牧市民病院）

- ・ 今週は再び手足口病がみられました。
（春日井市 かちがわ北病院）

- ・ 手足口病が小流行。伝染性紅斑が散発的に認められています。
（春日井市 片山こどもクリニック）

- ・ 病原性大腸菌 O-6 VT1・VT2（-） 1 歳男
（東海市 小児科ハヤカワ医院）

- 西三河地区

- ・ 病原性大腸菌 O-1 VT1（-）12 歳男
病原性大腸菌 O-6 VT1（-）0 歳男

（岡崎市 医療法人深田小児科）

- ・ マイコプラズマ肺炎 2歳女
カンピロバクター 兄弟（14歳女、10歳男）
手足口病が依然流行中
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 水痘例5例、手足口病3例に増えました。
（岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院）
- ・ カンピロバクター2名（6歳男、1歳男）
病原性大腸菌 O-1（+）VT1・VT2（-）2歳男
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 成人のインフルエンザ（36歳女）：迅速試験陽性
昨冬インフルエンザワクチン未接種で、昨冬インフルエンザに罹患していない
（岡崎市 医療法人川島小児科水野医院）
- ・ カンピロバクター 12歳女
（幸田町 とみた小児科）
- ・ ムンプスが引き続き流行しています。
（碧南市 永井小児クリニック）
- ・ 特に目立った感染症はありません。
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 異型肺炎 9歳男
（三好町 三好町立三好病院）
- 東三河地区
 - ・ カンピロバクター腸炎 3名。
ヘルペス性歯肉口内炎 4名 見られました。
（豊橋市 あずまだこどもクリニック）

（1～3類感染症の発生状況）

コレラ患者1名

- ・ 岡崎保健所から報告の34歳男 10/5発病、10/5初診、10/6診定。
菌型は、エルトール小川型。フィリピンへ渡航歴有り。

腸管出血性大腸菌保有者2名

- ・ 刈谷保健所から報告の36歳女。9/29初診、10/2診定。菌型は、
O-26 VT1（+）。
- ・ 豊川保健所から報告の4歳女。9/29初診、10/2診定。菌型は、
O-26 VT1（+）

細菌性赤痢患者 1 名

- ・ 岡崎保健所から報告の 22 歳女 10/7 初診、10/7 診定。菌型は、
ゾンネ 相。イランへ渡航歴有り。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

発生はありません。

愛知県感染症情報

愛知県衛生研究所企画情報部 （文責 磯村）

秋晴れの公園では木犀の香がただよい運動会の練習の賑やかな声が響くようになりました。いつも貴重な情報を有難うございます。9月後半のまとめをお送りします。

1. 名古屋市内：手足口病が相変わらず散発中で一部地区では最近増加、脳炎、髄膜炎の合併例も目立っています（名鉄病院宮津先生；保育園で流行あり、高熱と痙攣で死亡例あり、城北病院渡辺先生；髄膜炎例でビクツキや起立不能など脳炎を疑わせる例が2～3例あり今年には重症例が多い感あり、他に名東区高橋先生、労災病院山田先生からも目立っているとのことのお手紙です）。感染性胃腸炎もぼつぼつ発生中で（千種区今枝先生、名東区高橋先生、労災・山田先生）、国立病院伊藤先生からはついにO157でHUSを合併し透析を要した患者発生とのことのお手紙です。伝染性紅斑の流行が各地区でみられています（名鉄・宮津先生：看護スタッフの発病あり、千種区今枝先生；同胞4名全員罹患の家族あり）。気道感染症では微熱を伴う鼻炎（千種区今枝先生）、急性喉頭炎（千種区今枝先生）、仮性ク룹（労災・山田先生）、マイコプラズマを含む肺炎が増加（第二日赤岩佐先生、中京病院柴田先生、三菱病院岩間先生；胸膜炎合併例あり、労災・山田先生）などのお手紙で、三菱・岩間先生からは乳児の百日咳、労災・山田先生からは感染誘発喘息、EBウイルス感染症、膿痂疹、中京・柴田先生からは川崎病の入院がぼつぼつあり、などのお手紙をいただきました。

2. 尾張地区：犬山市武内先生からは手足口病が多発中、江南市昭和病院丸地先生からは手足口病とムンプスが流行中で無菌性髄膜炎の入院例が目立つ（手足口病合併例、ムンプス合併例、原因ウイルス不明例あり）、岩倉市永吉先生からは手足口病再増加、ムンプスが続発中、常滑市民病院上田先生からは手足口病がまだ散見、ムンプスも目立ち、感冒から気管支炎をおこして入院する例が数例あり、市立半田病院中島先生からは麻疹が数例あり流行の兆しの感じもあるとのことのお手紙でした。

3. 三河地区：加茂病院大須賀先生からは気管支喘息の発作例が目立ち要入院例も多い、岡崎市民病院系洲先生からは川崎病がチラホラ入院、安城更生病院小川先生からは手足口病が増加、百日咳やサルモネラ・カンピロバクター腸炎の入院が目立ち、腸管出血性大腸菌O-26感染者が5例ありいずれも軽症で経過、知立市近藤先生からはムンプス、カンピロバクター感染症散発、刈谷市田和先生からは溶連菌感染症と手足口病が少し目立ち感染性胃腸炎とムンプスがパラパラ、碧南市永井先生からはムンプスが幼稚園児主体に流行し、手足口病もやや増加傾向、豊橋市からは手足口病は峠をこえた感じでヘルパンギーナが散発中とのことのお手紙でした（市内長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。

2000 年 8 月 25 日号 (75 巻 34 号)

髄膜炎菌髄膜炎：エチオピア。アジスアベバ地区で 2000 年 3 月から 8 月、855 例発生し死亡 19 例 (A 群 90%、C 群 10%、30 歳以下主体)。エチオピアは髄膜炎菌常在地区であり 88 年 - 89 年には 5 万例に及ぶ全国的な流行が発生している。現在アジスアベバ地区において疫学調査、抗生剤投与とワクチン集団接種が進行中。

ポリオ根絶：パキスタン。99 年 1 月 - 00 年 8 月におけるポリオ対策の状況。ポリオ生ワクチン定期接種率は州により差が大きい。1 歳以前に 3 回接種を完了している児は全国平均で 60% 以下、バロチスタン州の 27% からパンジャブ州の 62% まで分布、2000 年当初の全国平均は 43% となっている。全国一斉接種日が 94 年から 5 歳未満小児を対象として実施されている。99 年には全国一斉接種と流行地を対象とした特定地区で年間 6 回、2000 年には 4 回実施され 2000 年当初の全国平均接種率は 93% となっている。急性弛緩性麻痺調査：99 年から米国 CDC (疾病対策センター) スタッフの指導で症例報告とウイルス検査網の精度が良好となった。99 年の急性弛緩性麻痺患者数は 561 例、328 例が野生株 (1 型主体) 陽性であった。2000 年における野生株陽性例は減少傾向を示しているが 1 型主体に流行中であり今後の対策が急務である。

国際検疫病流行地：2000 年 8 月時点におけるペスト、コレラ、黄熱病の流行地各国の県～郡単位の一覧表。

インフルエンザ：2000 年 8 月。オーストラリア。A 型。

8 月 14 日 - 24 日届出。コレラ：ジブチ。ペスト：モンゴル。

2000 年 9 月 1 日号 (75 巻 35 号)

髄膜炎菌髄膜炎：ルワンダ (注：アフリカ中部の部族紛争で内乱中の小国。髄膜炎菌など各種感染症の常在地区)。2000 年 8 月までに 164 例罹患、死亡 10 例。

インフルエンザ：ワクチンを中心としたインフルエンザ対策の WHO のコメント。高齢化社会の進展につれてインフルエンザは重症感染症であり対策が必須である。世界で約 50 カ国が国の方針としてワクチン接種を実施している。世界的には不活化ワクチン (感染防御抗原の精製ワクチン) 主体。新しい流行株に対応できるよう世界 82 カ国、110 の検査センターで最新流行株の検索を実施。ワクチンの有効性：成人志願者による新型ワクチンの有効性 (ウイルス確認による発病阻止効果) は 70 - 90%、生後 6 カ月以上の小児においても有効性は認められている。安全性：時に認められる軽度の局所反応だけ。卵アレルギーは要注意。接種対象者に関する WHO の勧告：施設内居住の高齢者や障害者、施設内居住者でなくても、慢性心疾患や呼吸器疾患、代謝疾患、腎疾患、免疫異常のある例、成人・6 カ月以上小児で慢性心疾患や呼吸器疾患、代謝疾患、腎疾患や免疫異常のある例、その他国が必要と定める例、医療従事者、看護担当者、家族。接種時期として流行前、10 月 - 11 月。ワクチン接種を毎年受けている例では年 1 回で初回接種者は 2 回とする。

生ワクチンは開発中。抗インフルエンザウイルス剤の予防投与は施設内などで流行が起こった時、流行早期であれば流行阻止に有効。

8 月 25 日 - 31 日届出。コレラ：マヨット、香港 (輸入例)。